

11 情報・通信工学専攻

情報・通信工学専攻では、将来の情報通信社会の基盤となる情報通信技術と、そこで蓄積される膨大なデータを活用した情報システム技術の確立に向けて、暗号・情報セキュリティ、知的情報処理システム、無線通信、光ファイバ通信、映像信号処理および映像伝送、各種モビリティ制御、コンピュータアーキテクチャに関する基礎研究や応用技術開発に貢献する指導的技術者・研究者を養成することを目的とする。

博士前期課程では、広い社会的視野および国際的視野を備えた指導的技術者・研究者を養成するため、

- ① 学部で涵養された基礎学力に基づき、情報・通信工学に関する高度な専門知識を修得すること
- ② 複数の関連専攻にまたがるカリキュラムの履修により、総合力・応用力を修得すること
- ③ 修士論文の研究指導を通じて、問題発掘・解決能力を修得することを

促す。

博士後期課程では、国際的な視野に立ったオリジナルな研究を遂行できる指導的技術者・研究者を養成するため、

- ① 学部および博士前期課程で涵養された基礎学力・総合力・応用力を駆使して、情報・通信工学に関する自らの専門分野を深化させること
- ② 関連分野との積極的な交流・連携を通じて、自らの専門分野を新たな分野に展開することを促す。

名古屋大学大学院工学研究科 情報・通信工学専攻

博士後期課程 ディプロマポリシー

- 高度な専門性と幅広い応用力
- 国際的な視野とリーダーシップ・創造力・総合力・俯瞰力
- 国際水準の研究者として未知の挑戦的な課題に取り組み、新たな研究フロンティアを開拓する力
- 次世代の「工学・技術」の創出に貢献する力

学位論文 審査基準：新規性、独自性等高度な学術的価値を有し、学術研究に大きく貢献 **（複数の審査委員による審査）**

【専門科目（セミナー）】
各専門分野のセミナー
2A～2E

【専門科目（講義）】

前期課程で修得済みの科目を除く各科目

【総合工学科目】

研究指導

博士研究
学会発表等の
研究活動

博士前期課程 ディプロマポリシー

- 専門性と応用力
- 幅広い国際的な視野と総合力・俯瞰力
- 実践的な研究遂行能力と問題発掘・解決能力
- 次世代の「工学・技術」の持続的発展に寄与できる力

修士論文 **（複数の審査委員による審査）**

【専門科目（セミナー）】
各専門分野のセミナー
1A～1D

【専門科目（講義）】

画像信号処理特論
情報ネットワーク特論
知的情報システム特論 等

【専門科目（実験・演習）】

各専門分野の特別実験
及び演習A、B

【総合工学科目】

工学のセキュリティ
と倫理
研究インターンシップ
高度総合工学創造実験
ベンチャービジネス特
論 等

他専攻等
科目

視野を拡
げるのに
資する他
専攻・他
研究科科
目

研究
指導

修士研究
学会発表
等の
研究活動

【基礎科目】 データ解析処理論、離散システム論
信号処理・波形伝送論 等